

## 代幾 I 小テスト [問題] (2007/01/11)

問題 1 次の連立方程式を解きなさい

Q.1

$$\begin{cases} x_0 + x_1 + x_2 + x_3 = 1 \\ x_0 - 3x_1 - x_2 - 2x_3 = 2 \\ x_0 + 9x_1 + x_2 + 4x_3 = 4 \\ x_0 - 27x_1 - x_2 - 8x_3 = 8 \end{cases}$$

Q.2

$$\begin{cases} x_0 + x_1 + x_2 = 1 \\ -3x_0 + 3x_1 - x_2 = -2 \\ 9x_0 + 9x_1 + x_2 = 4 \end{cases}$$

Q.3

$$\begin{cases} x_0 + x_1 + x_2 + x_3 = 1 \\ -x_0 - 2x_1 - 3x_2 + 3x_3 = 1 \\ x_0 + 4x_1 + 9x_2 + 9x_3 = 1 \\ -x_0 - 8x_1 - 27x_2 + 27x_3 = 1 \end{cases}$$

問題 2 次の行列の行列式を求めなさい

Q.1

$$\begin{vmatrix} 2 & 0 & 0 & -2 & 0 & -1 & 2 \\ 1 & -2 & -1 & 2 & 0 & -1 & -1 \\ 0 & 1 & -2 & -2 & 2 & -1 & 1 \\ 1 & -1 & -2 & -1 & -1 & -2 & 2 \\ -1 & -1 & 1 & 0 & -2 & -1 & 0 \\ -2 & -1 & 1 & 0 & 2 & 0 & -1 \\ 2 & -2 & 0 & 2 & 2 & 0 & 1 \end{vmatrix}$$

Q.2

$$\begin{vmatrix} -1 & 0 & 0 & 0 & -1 & 1 & 2 \\ 2 & 1 & -2 & -1 & 0 & 1 & 0 \\ -2 & 1 & 2 & 0 & 2 & 2 & -1 \\ 1 & -2 & 1 & 2 & -1 & -1 & -2 \\ 1 & 1 & -1 & 2 & -2 & -2 & -1 \\ -2 & 2 & -2 & 2 & 0 & 1 & -1 \\ 2 & -2 & -2 & 2 & 0 & 0 & 0 \end{vmatrix}$$

Q.3

$$\begin{vmatrix} 1 & -1 & -1 & -1 & 2 \\ 2 & 1 & 2 & -1 & -2 \\ 0 & 2 & 0 & 0 & -2 \\ -2 & 0 & 2 & -1 & -1 \\ 2 & -1 & -1 & -1 & 0 \end{vmatrix}$$

問題 3 次の行列の逆行列を求めなさい

Q.1

$$\begin{pmatrix} 1 & 0 & -2 \\ 2 & -2 & -1 \\ -1 & 1 & 1 \end{pmatrix}$$

Q.2

$$\begin{pmatrix} 3 & -8 & 9 & -1 \\ 1 & -1 & 0 & 1 \\ 0 & -8 & 7 & 2 \\ -4 & 8 & -7 & -1 \end{pmatrix}$$

Q.3

$$\begin{pmatrix} 3 & 4 & -3 & 3 \\ 4 & 3 & -3 & 2 \\ -5 & -4 & 4 & -3 \\ -4 & -3 & 3 & -1 \end{pmatrix}$$

問題 4

正則な  $n$  次正方行列  $A$  の縦ベクトルを、それぞれ  $a_1, \dots, a_n$  とする時、連立方程式  $Ax = a_i$  ( $i = 1..n$ ) の解が、 $e_i$  ( $i$  番目の単位行列) となることを示せ。

問題 5  $A$  を実数を成分とする二行二列 (二次の正方行列)、 $x, y$  を二次元 (平面) の縦ベクトル、 $c$  を実数とすると、次の線型性が成立することを示しなさい。

$$A(x + y) = (Ax) + (Ay)$$

$$(cA)x = A(cx)$$

(ヒント: 行列  $A$  並びに、ベクトル  $x, y$  を成分表示し、等号の左辺と右辺の結果が同じであることを示せばよい)

問題 6 行列  $X$  が実対称行列、 $Y$  が実交代行列の時、 $A = X + iY$  で表される複素行列  $A$  は、エルミート行列であることを示せ。

# 代幾 I 小テスト [解答] (2007/01/11)

問題 1 次の連立方程式を解きなさい

A.1

$$\begin{cases} x_0 = \frac{5}{2} \\ x_1 = -\frac{3}{2} \\ x_2 = -5 \\ x_3 = 5 \end{cases}$$

A.2

$$\begin{cases} x_0 = \frac{5}{12} \\ x_1 = -\frac{1}{24} \\ x_2 = \frac{5}{8} \end{cases}$$

A.3

$$\begin{cases} x_0 = 3 \\ x_1 = -\frac{16}{5} \\ x_2 = 1 \\ x_3 = \frac{1}{5} \end{cases}$$

問題 2 次の行列の行列式を求めなさい

A.1

$$\begin{vmatrix} 2 & 0 & 0 & -2 & 0 & -1 & 2 \\ 1 & -2 & -1 & 2 & 0 & -1 & -1 \\ 0 & 1 & -2 & -2 & 2 & -1 & 1 \\ 1 & -1 & -2 & -1 & -1 & -2 & 2 \\ -1 & -1 & 1 & 0 & -2 & -1 & 0 \\ -2 & -1 & 1 & 0 & 2 & 0 & -1 \\ 2 & -2 & 0 & 2 & 2 & 0 & 1 \end{vmatrix} = -242$$

A.2

$$\begin{vmatrix} -1 & 0 & 0 & 0 & -1 & 1 & 2 \\ 2 & 1 & -2 & -1 & 0 & 1 & 0 \\ -2 & 1 & 2 & 0 & 2 & 2 & -1 \\ 1 & -2 & 1 & 2 & -1 & -1 & -2 \\ 1 & 1 & -1 & 2 & -2 & -2 & -1 \\ -2 & 2 & -2 & 2 & 0 & 1 & -1 \\ 2 & -2 & -2 & 2 & 0 & 0 & 0 \end{vmatrix} = -1090$$

A.3

$$\begin{vmatrix} 1 & -1 & -1 & -1 & 2 \\ 2 & 1 & 2 & -1 & -2 \\ 0 & 2 & 0 & 0 & -2 \\ -2 & 0 & 2 & -1 & -1 \\ 2 & -1 & -1 & -1 & 0 \end{vmatrix} = -48$$

問題 3 次の行列の逆行列を求めなさい

A.1

$$A^{-1} = \begin{pmatrix} 1 & 2 & 4 \\ 1 & 1 & 3 \\ 0 & 1 & 2 \end{pmatrix}$$

A.2

$$A^{-1} = \begin{pmatrix} 7 & 16 & 0 & 9 \\ 35 & 79 & 1 & 46 \\ 32 & 72 & 1 & 42 \\ 28 & 64 & 1 & 37 \end{pmatrix}$$

A.3

$$A^{-1} = \begin{pmatrix} 0 & 5 & 3 & 1 \\ 1 & 3 & 3 & 0 \\ 1 & 10 & 7 & 2 \\ 0 & 1 & 0 & 1 \end{pmatrix}$$

問題 4

Q. 正則な  $n$  次正方行列  $A$  の縦ベクトルを、それぞれ  $\mathbf{a}_1, \dots, \mathbf{a}_n$  とする時、連立方程式  $A\mathbf{x} = \mathbf{a}_i$  ( $i = 1..n$ ) の解が、 $\mathbf{e}_i$  ( $i$  番目の単位行列) となることを示せ。

A. クラメル公式より、 $j$  番目の変数  $x_j$  の答は、次のようになる。

$j$  番目

$$x_j = \frac{\det(\mathbf{a}_1, \dots, \mathbf{a}_i, \dots, \mathbf{a}_n)}{\det(\mathbf{a}_1, \dots, \mathbf{a}_j, \dots, \mathbf{a}_n)}$$

ところが、 $j = i$  の時は、この式の分子は、分母と同じ  $|A|$  となるので、結局  $x_i = 1$  となり、また、 $j \neq i$  の時は、分子の行列式の中に同じ、縦ベクトル  $\mathbf{a}_i$  が二度現れるので、その値は、0 となり、結局  $x_j = \frac{0}{|A|} = 0$  ( $j \neq i$  の時) となる。

これより  $\mathbf{x} = (\delta_{i,j}) = \mathbf{e}_i$  となるので題意は示された。

問題 5

Q.  $A$  を実数を成分とする二行二列 (二次の正方行列)、 $\mathbf{x}, \mathbf{y}$  を二次元 (平面) の縦ベクトル、 $c$  を実数とすると、次の線型性が成立することを示しなさい。

$$A(\mathbf{x} + \mathbf{y}) = (A\mathbf{x}) + (A\mathbf{y})$$

$$(cA)\mathbf{x} = A(c\mathbf{x})$$

(ヒント: 行列  $A$  並びに、ベクトル  $\mathbf{x}, \mathbf{y}$  を成分表示し、等号の左辺と右辺の結果が同じであることを示せばよい)

A. 行列  $A$  並びに、ベクトル  $\mathbf{x}, \mathbf{y}$  の成分を次のようにおく。

$$A = \begin{pmatrix} p & q \\ r & s \end{pmatrix}, \mathbf{x} = \begin{pmatrix} x_1 \\ x_2 \end{pmatrix}, \mathbf{y} = \begin{pmatrix} y_1 \\ y_2 \end{pmatrix}$$

すると、それぞれの等式は以下のように示すことができる。

和

$$\begin{aligned} \text{左辺} &= A\left(\begin{pmatrix} x_1 \\ x_2 \end{pmatrix} + \begin{pmatrix} y_1 \\ y_2 \end{pmatrix}\right) \\ &= \begin{pmatrix} p & q \\ r & s \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_1 + y_1 \\ x_2 + y_2 \end{pmatrix} \\ &= \begin{pmatrix} p(x_1 + y_1) + q(x_2 + y_2) \\ r(x_1 + y_1) + s(x_2 + y_2) \end{pmatrix} \\ &= \begin{pmatrix} px_1 + py_1 + qx_2 + qy_2 \\ rx_1 + ry_1 + sx_2 + sy_2 \end{pmatrix} \\ &= \begin{pmatrix} (px_1 + qx_2) + (py_1 + qy_2) \\ (rx_1 + sx_2) + (ry_1 + sy_2) \end{pmatrix} \\ &= \begin{pmatrix} px_1 + qx_2 \\ rx_1 + sx_2 \end{pmatrix} + \begin{pmatrix} py_1 + qy_2 \\ ry_1 + sy_2 \end{pmatrix} \\ &= \begin{pmatrix} p & q \\ r & s \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_1 \\ x_2 \end{pmatrix} + \begin{pmatrix} p & q \\ r & s \end{pmatrix} \begin{pmatrix} y_1 \\ y_2 \end{pmatrix} \\ &= \text{右辺} \end{aligned}$$

よって、

$$\text{左辺} = \text{右辺}$$

よって、与えられた等式は成立する。

定数倍

$$\begin{aligned} \text{左辺} &= \left( c \begin{pmatrix} p & q \\ r & s \end{pmatrix} \right) \mathbf{x} \\ &= \begin{pmatrix} cp & cq \\ cr & cs \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_1 \\ x_2 \end{pmatrix} \\ &= \begin{pmatrix} cp x_1 + cq x_2 \\ cr x_1 + cs x_2 \end{pmatrix} \\ &= \begin{pmatrix} p(cx_1) + q(cx_2) \\ r(cx_1) + s(cx_2) \end{pmatrix} \\ &= \begin{pmatrix} p & q \\ r & s \end{pmatrix} \begin{pmatrix} cx_1 \\ cx_2 \end{pmatrix} \\ &= A \left( c \begin{pmatrix} x_1 \\ x_2 \end{pmatrix} \right) \\ &= \text{右辺} \end{aligned}$$

よって、

$$\text{左辺} = \text{右辺}$$

よって、与えられた等式は成立する。

### 問題 6

Q. 行列  $X$  が実対称行列、 $Y$  が実交代行列の時、 $A = X + iY$  で表される複素行列  $A$  は、エルミート行列であることを示せ。

A.

$A$  がエルミート行列であることを示すには、 $A^* = A$  を示せばよい。

$$\begin{aligned} \text{左辺} &= (X + iY)^* \\ &= X^* + (iY)^* \\ &= X + (iY)^* \quad (\text{仮定より } X \text{ は実対称行列なので、} X^* = X) \\ &= X + (-i)(Y^*) \quad (\overline{cA} = \bar{c}\bar{A}) \\ &= X + (-i)(-Y) \quad (\text{仮定より } Y \text{ は実交代行列なので、} Y^* = -Y) \\ &= X + iY \\ &= \text{右辺} \end{aligned}$$

よって、

$$\text{左辺} = \text{右辺}$$

よって、与えられた等式は成立する。すなわち、 $A$  はエルミート行列である。